

# “紙芝居とカルタ”ではちさとの魅力を味わい隊

前田ゼミナール 創価大学

担当教員 前田幸男

代表者名 林直輝

## 要約

近年、地球温暖化による気候変動や自然災害が多発しており、持続可能な社会を構築するための取り組みが声高に叫ばれている。その中で、私たちのグループは自然環境に焦点を当て研究を進めていく過程で八王子市にある里山と呼ばれる山には気候変動、自然災害を食い止めるだけでなく文化継承、豊富な生命循環を守るなど多くの役割を担っていることがわかった。しかし、認知度不足、担い手不足により里山を管理することが難しく、荒廃してしまい本来の役割を十分に発揮できていない現状となっている。そこで、里山保全に向けて認知度を上げ、将来的には担い手を創出することを狙いとし、未来を担うこどもたちに八王子市の抱える課題解決を行って欲しいという思いから里山に関する環境学習コンテンツ（紙芝居、カルタ）を製作した。具体的な活動としてエコひろば様ご協力のもと八王子市内の学童保育所様と連携させていただき、紙芝居・カルタの出張授業で多くのこどもたちに里山を知っていただく機会を創出した。また、小学生が理解しやすいよう親しみやすい内容にすると共に制作背景、そしてカルタ1つ1つにこめられた思いを綴り、その際、漢字には全てフリガナをふり、特別ルールの考案そして紙芝居では途中で聞き飽きてしまう可能性があると考え、2回クイズを挟み、参加型にするなどの様々な創意工夫を重ね、最後まで楽しく理解促進に向けた取り組みを行った。



## 目的

目的は3つあります。1つ目は、未来を担う若い世代が自然豊かな八王子に興味・関心を持ち、人と里山の密接な関係を再構築することで活気を取り戻していきたい。2つ目は、自作のカルタ・紙芝居を通して、未来を担う八王子市内の児童に同市の里山の現状・魅力を伝え、自然や生物を身近に感じていただき実際に足を運んでもらいたい。3つ目は、SDGs 環境教育や八王子長期ビジョン 1.2.3.4.6 達成に向けた取り組みを推進していきたい。

## 方法

小学校低学年のこどもたちを対象に里山の現状や魅力を伝えるため、紙芝居とカルタを製作した。2021年に八王子市の学童で実演した経験を踏まえて改良を加え、紙芝居、かるたを30セット発注した。改良点はかるたにおけるものであり、大きく分けて2つある。1つ目はかるたの遊び方を説明する動画の作成である。以前小学校でかるたを行った際に、競技性の側面が強くこどもたち同士で揉めてしまうという問題点があった。そこで、平等性を確保すべく明確なルールをまとめた動画を作成し、YouTubeにアップすることでこどもたちが仲良く遊び、学べる工夫をした。2つ目は、かるたの読み札解説書の作成である。多く札をとることに集中してしまう懸念点を解消するため、小学校低学年でもわかるような言葉で説明した読み札解説書を作成した。かるたで遊んだ後に一番多く札を取った子に解説を読み上げてもらおうというルールを加え、私たちが伝えたい八王子の里山の魅力や現状をこどもたちに知ってもらおう工夫を加えた。このような改良点を加え、①紙芝居②かるた③かるた読み札解説書④背作に至った背景やかるたの遊び方をまとめた説明書⑤アンケートのご案内の5点を同封し、各学童に送付した。また、

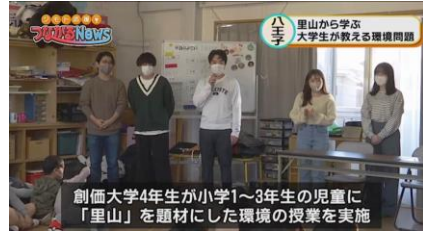
1月10日、1月17日には元八王子学童保育所、1月25日にはからまつ学童保育所を訪問し、子どもたちに紙芝居を読み聞かせした後かるたで楽しく学ぶことができた。



## 結果

八王子市環境学習室エコひろば様と密接に協力させていただき、29ヶ所の学童とエコひろば様に紙芝居とかるたを寄付することができた。また、2ヶ所の学童に足を運び、実演した。子どもたちを対象とした事後アンケートでは、「里山や自然環境について学べた」「里山に行ってみた」という項目に対して、参加してくれた児童の9割から10割が手をあげてくれた。また、私たちの取り組みをJ:COMの「ジモト応援！つながらるニュース」という番組で5分間ほど取り上げていただき、活動の意義をアピールすることができた（2月2日放送）。そこでは、「里山から学ぶ 大学生が教える環境問題」という題名で、私たちが何を目的に活動しているかという部分から実際に学童で実演している様子がまとめられていた。取材の中で、児童からは、「お姉さんたちが紙芝居を読んでくれて里山のことがわかりました」と「動物たちは人間がいなくて困るという事がわかった」という好評を頂いた。以上のように八王子の多くの若い世代に、里山という存在や現状を知ってもらったこと、私たちのこれからの行動が、八王子の里山や動物などの豊かな自然を守ることに重要であるということへの理解、里山へ足を運んでもらうためのきっかけづくりを達成できたのではない

かと考える。



## 考察(地域への提言・提案を含む)

学童に訪れた際に、子どもたちの声を聞くと里山を知るきっかけがないことがわかった。そこで八王子市にある様々な里山を活用し、小学生を対象としたフィールドワークの拡充をしていくと同時に里山で活動する際に子どもたちに魅力的なイベントを設けていくことが大切であると考えます。

## 結論

私たちは、自作の紙芝居・カルタを通して八王子市の抱える課題解決、そして環境学習の機会提供、里山保全のきっかけづくりに取り組んだ。また、子どもたちが理解しやすい様々な案を検討し、実施してきた。その結果、学童保育所の職員の方々、子どもたちから好評を得るこ

とができ、「里山に行ってみたい」や「興味・関心が湧いた」などの声をいただき私たちの目標が達成されたのではないかと考える。そして将来的には、環境に関する活動、里山保全に携わっていただき、八王子市のサステナブルな社会を構築する一員となって欲しい。

#### 参考文献

ジモト応援！東京つながる News～八王子・日野  
[https://c.myjcom.jp/jch/east\\_01/regular/tokyo\\_hacioujihino.html](https://c.myjcom.jp/jch/east_01/regular/tokyo_hacioujihino.html) (2月2日放送)